

KANSAI

カンサイの カイシャ ここが オモロイ!

樋口メリヤス工業 (大阪)

大人から子どもまで、どんな足にもフィットするかわからない靴下「つつした」。ありそうでなかった靴下の開発者は、「樋口メリヤス工業」(大阪府枚方市)の中江優子社長(55)。実は、最初は乗り気でなかったという家業ですが、今や世界で一番好きな仕事になったそうです。

樋口メリヤス工業 1933年、軍手・軍足の製造工場として創業した。現在は社員3人、パート2人。「つつした」はフリーサイズで、価格は1足1千円台～3千円台。長さど、締め付けのタイプが3種類ずつある。購入はインターネット上の公式ショップか、電話(072・807・8680)で。

再起の足がかり「つつした」



(左から)社長の中江優子さんと母の節子さん、次男の光希さん。持っているのが「つつした」=大阪府枚方市

創業90年。物心ついた時から、両親は働きづめだった。中江さんは3姉妹の末っ子。家業を継ぐつもりはなかった。ただ、姉たちが次々と結婚。誰も継ぐ人がおらず、責任感から継ぐことにした。府内のメリヤスメーカーに2年ほど勤め、23歳で戻った。実は、仕事は「全然やらなくない」と思いながらバイト感覚でこなしていた。27歳で結婚し、2人の子どもを出産した。その頃だったか、少しずつ繊維業界に陰りを感じるようになった。コストの安い海外に生産は流れていった。

その後、取引先がつぶれ、連鎖倒産の危機に。奔走した父は病で倒れた。中江さんは38歳で社長を継いだ。その時、負債は億近くあった。「たたもうか」と倒産を勧められた。しかし、どうしても腑に落ちなかった。私、この会社で一生懸命やっただろうか。人のために尽くしたのだろうか。何も誇れることをやれていない。倒産するのは、明日でもできる。工場と家を売り、枚方市が運営する創業支援の貸事務所を再スタートを切った。その時、決めた。大量生産ではなく、小ロット。大勢のための一足ではなく、たった一人の人が欲しいと思う靴下を作っていく。ただ、ヒット商品には出会えない。悩んでいた時、常連客の言葉が浮かんだ。「筒」の靴下おいてへん? 「これが欲しいねん」その時は「そんな絶対ダメですよ」と即答した。でも、ずっと頭に残っていた。

職人に相談すると、挑戦を快諾してくれた。ゴムを使わず、糸の伸縮だけで足にフィットさせる。伸縮性に優れた糸は、高級で、通常の靴下で使うことはほばない。編み方にもこだわりの、肌にあたる部分には全てコットン100%にした。糸の量は通常の約3倍。「コストを重視するでできない編み方です」。一方で、大手ではできない強みを見つけた。2017年、販売を始め、徐々に販路を拡大した。誰でもはける、フリーサイズのかかさない靴下。当初のターゲットは男性会社員を想定していたが、目の見えない人、子ども、蒸れやむくみに悩む女性から圧倒的な支持を受けるようになった。自宅隣の工房で、日本製の丸編み機などを使い、1日約100足を編む。今も日々、改良を重ねる。次男の光希さん(28)は「ジェンダーレスの時代、母の『つつした』は可能性しかない」とこの春、大手靴下メーカーから戻ったばかりだ。来春にはカナダでの展示会が決まっている。倒産の危機から一転、つつしたで世界に挑む。(大滝幸)

パート従業員の天津結さん(35) 蒸れにくく、疲れにくい「つつした」の一番の愛用者です。何でも挑戦できる前向きな会社で、社長のパワフルさがすごいです。量産できない分、お客さんの声も大事にしている、すぐ改善できるのも強みだと思います。

伊料理と自然体のペアリング

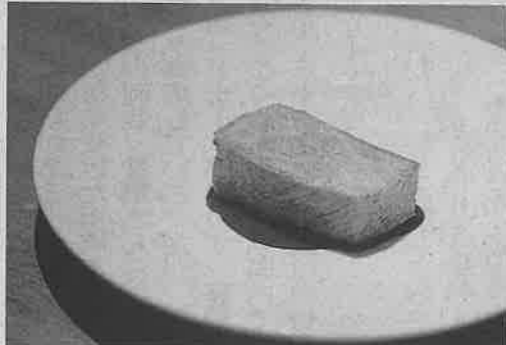
昔屋「バーカロ」で15年勤めるなど、イタリアン歴史27年の田邊成雄シェフが行き着いたのは古典料理。とはいえ、熊本黒毛和牛のアローストは、ソースにフォンドポーターを使わず、鶏のブイヨンを使うことでコクを出しつつ軽やかに仕上げるなど、手をかけながらも重たさを感じさせない。クラシックな料理にはクラシックなワインが合うのがセオリーながら、元町「カルド」で料理長を務める希望に依りてナチュラル

(天野準子ライター)

厳選 押し店

あまから手帖 × 朝日新聞

VICOLO 神戸市中央区下山手通3の5の5 新安第一マンション1階。☎078・585・5341。18時～24時、日曜13時～18時。不定休。各線元町駅から徒歩5分。



熊本黒毛和牛 アロースト5600円(2名分、写真は1名分)



最新号7月号「神戸でお逢いしましょう」好評発売中!

- し込みでチヌ。伊勢吉☎06・6681・6005
- 【岸和田】中波止や旧一文字でマダコの新子が育ち数釣れだした。沖の北では30センチグレの食いがよい。落とし込みでチヌ。当分の間火曜日も営業。岸和田渡船☎080・8939・9535
- 【泉佐野】周辺の波止からマメアジ、小サバ。軽く投げてキス。乗合船は胴突き仕掛けで40センチのアジを狙う。一文字ではグレ、キス。まるは釣具泉佐野店☎072・464・0841
- 【泉南小島沖】乗合船は落とし込み釣りで大物狙い。マダイ、大アジ、ハマチ、ガシラなど魚種は多い。大型サワラのバラシが多く取り込みに注意。泉州丸☎080・3813・9457
- ◇和歌山◇
- 【中紀大引】沖磯に渡りウニエサでインダイの食いがよい。水温が上がりエサ取りも増えた。カゴ釣りでマダイ、イサキ。ルアーでシラが釣れだした。夜釣りは中止。上野渡船☎0738・65・1222
- 【中紀印南】乗合船は印南沖でイサキの好調が続く。夜のアカイカ釣りは天候の回復待ち。本カツオは約1時間沖の波浪ブイ周辺で狙う。清義丸☎0738・42・0259
- ◇京都◇
- 【東舞鶴】湾内の筏(いかだ)では35センチヨリが好調。40センチのチヌも。ポート釣りで28センチキス。一帯の波止からマメアジが釣れだした。黒鯛釣具☎0773・66・3319

とれとれ 魚信

- 中紀印南沖12のポイントで、本カツオが釣れている。群れが居る間の短期決戦だ。走り回る獲物とのやり取りに挑戦するファンも多いらしいが、想像するだけで体の節々が痛い。
- ◇兵庫◇
- 【東播東二見】乗合船は二見沖に出て300〜400センチのマダコが4〜17杯と好調が続く。2キ以上大型が多い。これから新子が増えそう。西海丸☎078・942・6480
- 【神戸港】空港では夜にキビナゴエサのウキ釣りで中型のアジ、サバ。そろそろ大サバ狙いも。日中は胴突きでガシラが好調。フカセで狙えばグレも。マックスハーバー店☎078・682・3838
- 【芦屋】キャナルパークではマメアジ、小サバが好調。サビキ仕掛けの5号を使えば30センチのコノシロが釣れる。虫エサでグレも。潮風大橋下から東側の釣り場が開放された。マックス芦屋店☎0797・34・4848
- ◇大阪◇
- 【大阪南港】一帯のサビキでカタクチイワシ。アジはまだ少ない。大和川尻や堺大浜など虫エサの電気ウキ釣りでキビレチヌ狙い。各波止では落と